

■はじめに

人口減少、少子高齢化は現在、全国で社会問題となっております。この影響は地方になればなるほど強く、祭事等の地域活動の担い手がいなくなり行事ごとができなくなっているといった声をよく聞きます。これは地域住民が集まる機会が減っていることを意味し、地方や田舎の強みである「人と人とのつながり」が失われつつあることとなります。

多様な生き方、考え方など「個」が尊重される時代。従来行ってきたような、地域が義務を課すことで人を集めるようなことは、今後難しくなってくるのではないかと思います。

人が自らの意思で足を運ぶような場所を考えたとき、私は「温泉」が浮かびました。「温泉」で行われているコミュニティづくりを学ぶことで、地域活性化のヒントになるのではないかという想いから、今回の特集を編集しました。あなたが通う地域の温泉。日ごろの疲れを癒す場としてだけでなく、人と人が繋がるような、そんな場所であってほしいと思います。

(研究員 吉田 一登)

■表紙のことは

駅舎にある温泉と足湯。地元の木材を活用して建てた温かみのある駅。松丸(まつまる)駅の近隣駅には「ちかなが」、「よしのぶ」。名前のように駅が並んでいる。のどかな町に川を挟んで向かい側には「虹の森公園まつの」。松丸駅へ日本一小さく、ゆっくりの新幹線が入ってくる時間にはアナウンスがあり、マニアは飛び出してのどかな風景、ぽっぽ温泉を背景にシャッター音が続く。駅舎に併設されたぽっぽ温泉、駅の玄関口に使えるようになっている。座ると、湯の前に丁度良い建物に揃って季節の花が並んで、気持ちも安らぎ温まる地元の人たちの優しさが伝わってきた。

柳原あや子



●アングル

温泉と地域の関わり

～温泉を通じた集いの場～

内田 彩/千葉商科大学 サービス創造学部 准教授

1

●特集/温泉から広がる地域の活性化

①地元が笑顔になるよう盛り上げたい!

西村 佳野/亀ヶ池もりあげん会

4

②「温泉から広がった私たち」

～地域の活性化を目指して～

中野 良治/NPO法人ハートinハートなんぐん市場マネージャー・精神保健福祉士

6

③マルシェとサロンでつなぐ地域交流

藤田 和千恵/(有)湯之谷温泉 代表取締役 女将

8

④「森の国ぽっぽ温泉」

森口 泰/森の国ぽっぽ温泉 支配人

10

⑤湯けむりピンポンINうまじ温泉

林 義人/コミュニティセンターうまじ 馬路温泉 支配人

12

⑥映画制作と地域活性化

～浜村温泉湯けむり映画～

荒尾 極/ことり舎

14

⑦温泉街から地域を盛り上げる

山口 澄雄/古湯・熊の川温泉 観光コンベンション連盟 理事長

16

●地域おこし協力隊 リレーレポート

どうせ働くなら楽しい方がいい。

水野 裕之/宇和島市 地域おこし協力隊

18

●移住コンシェルジュ通信

移住者と地元住民から生まれたプロジェクト「道後オンセナート」

板垣 義男/えひめ移住コンシェルジュ

20

●特選ブログ/shin 1さんの日記

温泉から広がる地域の活性化

若松 進一/人間牧場主・年輪塾々長

22

●“MY TOWN” うおっちゃんぐ

ある銭湯のアーカイブズ 旧保内町・清水湯

岡崎 直司/タウンツーリズム講座主宰・近代化遺産活用アドバイザー

24

●まちづくり活動アシスト事業(報告)

①泉谷棚田を核とした地域づくりへ

～農業+αの生業づくり～

中川 穂徳/泉谷地区棚田を守る会 事務局長

26

②「海は繋がっている」

～人と人、昔と今、海と陸が繋がっている～

正岡 英彦/伊方町 まちづくりグループSKN 代表

27

●Information センターからのお知らせ

賛助会員の募集について

センタースタッフご紹介

えひめ地域政策研究センター

28